

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成の報告がありました。

## 第 4 回 自治区制度等行財政改革推進特別委員会

日 時 平成 30 年 6 月 25 日 (月)

10 時 49 分～12 時 03 分

場 所 議会全員協議会室

【委 員】串崎委員長、芦谷副委員長

三浦委員、沖田委員、川上委員、上野委員、飛野委員、岡本委員、  
永見委員、佐々木委員、西村委員

【議 長】

【委員外議員】

【執行部】近重副市長、石本教育長、砂川総務部長、岡田地域政策部長、宮崎財務部長、  
前木健康福祉部長、斗光市民生活部長、田村産業経済部長、  
湯浅産業経済部参事、石田都市建設部長、佐々木教育部長、佐々木消防長、  
河野上下水道部長、宇津浜田地区広域行政組合事務局長、  
吉永金城支所長、塚田旭支所長、河上弥栄支所長、斎藤三隅支所長、  
佐々木市長公室長、山根総務課長、草刈財政課長、西川人事課長、  
湯浅教育施設再編推進室長、西谷行財政改革推進課長、浅田行革推進係長

【事務局】小川局長、鎌原書記

### 議 題

- 1 行財政改革実施計画平成29年度報告及び平成30年度計画（案）について
- 2 事務事業評価の実施について（中間報告）
- 3 その他

○次回開催 8月17日（金） 全員協議会終了後

【会議録】

(開 議 10 時 49 分)

串崎委員長 | 委員会を開催します。本日は出席者 11 名で定足数に達していません。会議に入ります。

1. 行財政改革実施計画平成29年度報告及び平成30年度計画（案）について

串崎委員長 | 執行部より説明をお願いします。行財政改革推進課長。

行財政改革推進課長 | (以下、資料をもとに説明)

串崎委員長 | 説明が終わった。委員から質問・意見等がありますか。

川上委員 | 2 ページの総評の 29 年度実績についてです。スリムな行政の構築全 37 項目の 4 番目、32 番、広島開拓室特別プロジェクトチームのことですが、財政効果は確かにあったと思いますが、平成 30 年においては逆の効果が見込めるので、そのことに関する扱いはどうされるのか教えてください。

産業経済部参事 | 逆の効果と申しますと一般質問で頂いた、お客さんが減ってきたことでしょうか。

川上委員 | はい。

産業経済部参事 | 一般質問でもお答えしたとおり、お客さんが減らないように、それが地元への誘客にしっかり繋がるよう、お客さんが来やすい環境を整え、決して減らないよう取り組んでいきたいと思えます。

川上委員 | ただいまお返事いただいたように、決して減らない方法を取られることを確約したので、間違いなくやってください。ということでこの件に関しては多分無いでしょう、ということです。

串崎委員長 | その他。

佐々木委員 | 31 ページの教育文化振興事業団の、これは組織になるのでしょうか、在り方の見直しということで検討がされていますが、まずこれは財政効果を望むようなことにはなっていないので、その辺の確認と、どのような組織の再編を目指しておられるのか、イメージについてお願いします。

それから 41 ページの投票、経費の削減。これは 29 年度の A 評価となっていますが、衆議院選挙においては主に民間人の投票事務で起用に取り組んだことが削減評価になっているのではないかと思います。この辺の詳しい説明をお願いします。

それから 65 ページ、これは取り組み内容が青で書かれて少し変わっているのですが、書いてある内容はほぼ同じかと思うのですが、単純に伸びたのかなという感じです。その辺の説明をお願いします。

それから 71 ページの市有財産の利活用、これもちょっと変更になって数字が青字で書いてあって、先ほどの説明ではかなり……33 年までの 9 千 100 万円から 3 億 3 千万円と大きな増になっています。その要因をお願いします。

串崎委員長  
教育部長

31 ページの件からお願いします。教育部長。

教育文化振興事業団の財政的な効果が見られないだろうということですが、今回事業団の在り方の見直しということで、目指す将来像にもありますように、この事業団は複数の施設を管理しています。その中の事業団の職員沢山いますので、どうしても効率的な運営をまずやっていただきたいということがあります。実績にもありましたが、まずそこで働く職員さんの意識改革を図らないといけないということ。国内でも同じような事業団があちこちあるので、そうした所へ視察に伺って良いノウハウを学んでいただき、組織の効率化に努めていただこうと考えています。これが事業団の組織運営が効率化できれば、もしかしたら指定管理料にも影響が出てくるだろうと。ただその金額ははっきり分かりませんので、ここには金額は上げていない状況です。

佐々木委員

分かりました。改めて指定管理や管理している施設の削減効果を目指して再編していくとのことですが、教育文化振興事業団というのは殆どどこにもあるような組織だと思いますが、こういった傾向が全国的にあるのでしょうか。

教育部長

そこまでは把握していませんが、これまで視察に行った所は良い部分が沢山あったとは聞いています。

串崎委員長  
総務部長

41 ページの投票・開票についてお願いします。総務部長。

29 年度は衆議院選挙と市長・市議会議員選挙をやっています。通常国政選挙や県レベルの選挙については民間人を活用することを推進しています。その費用が国県経費を貰ってやっているの、市の持ち出しがなく、逆に民間・学生さんのアルバイト推進にもなるということをやっているのですが、市の選挙は全て市の持ち出しになるということ、逆に財政的な負担が大きくなるということ、市長・市議選については職員の振り替え対応で経費抑制を図ったため、こういう書き方になりました。

串崎委員長  
教育部長

次に参ります。次は 65 ページ、公立幼稚園関係です。教育部長。

議員さんのご指摘もありましたが、建設場所については子育て支援センターとの絡みもあって、今回は候補地については見送った経緯があります。またこの度一般質問でもあったように、幼稚園の入園者が今かなり減ってきているので、それも新たな要因として今後検討を加えていくということ、時期的にはずれたのだと思います。

串崎委員長  
行財政改革推進課長

では次、71 ページ、市有財産の関係。行財政改革推進課長。

71、72 ページの市有財産の利活用ですが、28、29 年度の財政効果額をご覧ください。1 千 530 万円というのが単年度計画としていました。これについては平成 27 年度 9 月時点の予算額をベースに効果額を弾いています。当時年間の効果額を 1 千 530 万円と見込んでいましたが、今年度以降については総務文教委員会で報告させていただきますが、財産売却計画というのを立てたので、そちらの金

額を盛り込んでいます。単年度で言うと 30 年度が 1 億 4400 万円あまりということで、以降は計画額を効果額として上げています。それが伸びた要因です。

佐々木委員

その売却計画というのは、見れば分かりますか。

行財政改革推進課長

はい。

佐々木委員

では今は置きます。

串崎委員長

その他ありますか。

三浦委員

この表の根本的な見方についてお伺いします。右上の全体の進捗状況が網掛けになっているのは、どう解釈したら良いですか。

行財政改革推進課長

右上の全体の進捗状況については、進捗率が出せるものを数字で上げています。上げられないものについては網掛けにしています。

三浦委員

例えばですが、これは議会のことなので議会改革委員会等で議論すべきことかもしれませんが、議会の情報公開の促進というのが全体の進捗状況が出せないというのは、私は違和感があります。

例えばケーブルテレビで定例会を放映して、それが見えるようになったというのは、事業がどうだったかが示されているだけであって、その事業によってどのくらいの視聴者が増えた、議会としての情報公開がどのくらい出来る中での何パーセントがそれによって出来るようになったとか、出せると思います。そうやって見ていくと、全体の進捗状況、この指標が財政効果という所であれば出せるもの、出せないもの、出しにくいものというのはあると思いますが、少し違和感を覚えたのだからいかがでしょうか。

総務部長

ご指摘いただいた進捗状況ですが、基本的には財政的な部分を優先して進捗状況を出しています。先ほども説明したように金額でお示しした部分が強く、なかなか金額で出せない。研修が進んだとか、ケーブルテレビとか、情報公開ということを、物差しをきちんと決めれば出せると思いますので、その辺きちんと測れるものは再度チェックしてみたいと思いますが、現在の進捗率等については基本的には財政的な見地を中心に考えていまして、あまり財政的な物差しがないものは網掛けにしています。行革というのは財政のことだけではなく、事務効率化等色々な観点があると思うので、再度チェックさせていただければと思います。

三浦委員

そうするとこの行財政改革の実施企画の実績報告というのは、飽くまで財政的にどういった効果があったかという指標で見るとこの理解でよろしいですか。

総務部長

元々、中期財政計画等を出しており、浜田市の財政状況を良くするために行財政改革に取り組むということでこれまでもやっています。ただ、お金だけでなく事務の効率化等を含めて行革をやるということで、この計画を作る時に、各課で取組む項目を挙げていますので、その中で例えば職員の削減をすると人件費でお金が出てくるわけですが、そうではない効率化等も含めて出していて、それを

同じ指標に入れていきますので、尺度が測れないものについては空欄になったり、逆に違う表記をしたものもあります。基本的には先ほど 1—2 の表でお示したように、何の物差しで皆さまにお示しするのが一番分かりやすいかということで、財政効果額という数字でやらせていただいている。それは財政健全化という所からスタートしたということでご説明させていただきます。

三浦委員

部長がおっしゃったように、尺度が色々あると思います。先ほどの議会の情報公開についても、ケーブルテレビの録画放送を行うことによってたくさんの市民が見られるようになる、情報公開も進むというのは、行政改革の中で非常に評価できることだと思います。それが財政的な評価指標だけで計ってしまうと、そうした評価が数字的には見えないことになってしまうので、折角こうして全庁的に行財政改革を進められる中で、しかも 1 冊にまとまって出てくる中で、財政的な評価だけで数字を計ってしまうと、そうした評価が埋没してしまうような気がします。そうした別手法もあると先ほどおっしゃっておられたので、そうした部分を含めて今後全体での行財政改革がどういう方向性で進んでいるか、冒頭書かれています、そういう所にしっかり基づいて各課から出てきた事業がどのように見直しされて、それが一体どういう効果があったのかは、出し方としてまたご検討いただけたらと思います。

付け加えて総合戦略等もされている中で、K P I の設定だとか出来るだけ事業目的、目標が設定されて、それに対してどこのどういう事業を行い、その事業がどの程度達成されることで目標値に達しているのか、K P I の設定が求められていますが、そうした考え方を行財政改革全体の方にも用いることで、全体評価がどれくらい進んでいるのかはしっかり目に見える気がする、付け加えてご提案させていただきます。

総務部長

相対的な評価も必要だと思います。単年度の進捗率については全ての項目に書かせていただいています。それが先ほどご指摘がありました、全体の評価として進捗がどうなっているかというところで、1 ページで進捗率が出せるものは 100 パーセントや 0 パーセントという出し方をしている、そうでないものは外していますので、この分類を再度検討させていただければと思います。

串崎委員長

その他ありますか。

川上委員

大きな事なのだが、行財政改革の評価方法 A、B、C というのは、自分で作った目標を自分で評価するのですか。

総務部長

評価の仕方については、内部でこういう評価をさせていただく、それについて議員の皆さまや外部委員で構成されている推進委員会でその評価が適正かどうかをご審議いただく。先ほど申したように A、B、C 等の進捗率、財政効果額を出していますが、これが例えば、内部でやるから手前味噌で甘いとか辛いとかご意見もいただ

川上委員

いて、それが適切でなければ修正等もするというので、決定するまでにご説明させていただいているということで、同じように今度の推進会でもお諮りしてご意見を頂きます。

評価方法については分かりました。何故このようなことを聞くかという、行革が進まない理由の中には、既得権益というのがあります。大きなメリットがあっても小さなデメリットがあるからやらないとか、自分では改革しづらい、第三者に切ってもらえば改革が進むとか。行政改革の手法として与えられた方法だけではなく、自ら考えてやる方法も1つの手かと思うので、その辺も十分検討していただければと思います。

総務部長

今回お示ししている実施計画というのは5年を1つの目安に、年度当初に項目を挙げて整理したものです。ただ、この後ご説明しますが、事務事業評価という更に事業のチェックをする取り組みを今年度行っています。そういう項目も今日お示した冊子の中で、完了したものは外し、新たに加えるものを追加して……当然ここにあるものだけをやるのではありません、新たな項目や色々な視点で行財政改革はやっていかねばならないと思っていますので……今年度は事務事業評価、元気な浜田づくり事業や、各担当課が考えた外部委託や事務削減を提案して、それをまた色々ご意見をいただくような取り組みをやって、行革が更に進むようにやっていきたいと思えます。

佐々木委員

52ページの公共施設第一期計画の推進で、イメージ的に、例えば民間譲渡や廃止等、総面積に対する削減評価のイメージだったのですが、ここではそうではなく、維持管理費やそういった面での削減のような表現なのですが、それで全体の進捗が78パーセントということで、決して民間譲渡や廃止の計画が進んでいることではない、ということなのですか。

行財政改革推進課長

52ページの公共施設再配置実施計画の推進ですが、ご指摘いただいたように53ページ以降の表を見ていただくと、ランニングコストも含めて削減予定額を記載しています。公共施設再配置にあたっては今後見直しを随時かけていきますが、公共施設面積が削減できる方向が1つと、維持管理経費の削減も必要ですので、その二面性をもって効果を出していこうという考え方は持っています。

佐々木委員

今後については公共施設再配置実施計画で詳しくやっていきますが、こちらではランニングコストも含めた資料を掲載しています。

だから、ここでは削減の全体の進捗状況78パーセントというのは、削減の効果の表現ではないということですか。

行財政改革推進係長

78パーセントというのは、一番下に財政効果額という表があります。こちら維持管理費の削減額の数字になっています。最初計画を立てていました計画額の累計で7千228万7千円、これが当初計画ベースでのランニングコストの減、ただいま実績の欄ではランニン

串崎委員長

グコストの減の累計が5千642万9千円。この進捗状況が割合として78パーセントになるということです。

他にありますか。

( 「なし」という声あり )

では次の議題にまいります。

## 2. 事務事業評価の実施について（中間報告）

串崎委員長

執行部より説明をお願いします。行財政改革推進課長。

行財政改革推進課長

( 以下、資料をもとに説明 )

串崎委員長

説明が終わりました。委員からの質問等がございますか。

川上委員

ここでも同じことを言いますが、対象事業についてアイウの各課が見直しを提案する事業として書いてあります。このことは本来なら横断的に考えられてやった方が良いと思います。違う課の方が、おかしいことに気づくことがあるかもしれません。自分ではやりづらいので、そういうことも必要かなと思っています。

元々のスタートが、スクラップアンドビルドです。これを絶対間違えないように。横断的な見方は必要だと思います。その点をしっかりどこかに書いていただきたいのですが、いかがでしょうか。

総務部長

これ各課が提案したことになっていますが、これは全庁的に同じ目線で見なければいけないということで、庁議等でも拾い出しをしています。また、一応各課となっていますが、各部単位でもらっています。今回のこの事業を導入した経緯は、スクラップということで、これから定員適正化計画において事務事業量調査を行い、かなりの人数を減らしていかなければいけない。人を減らすということは仕事を減らさないと、1人の仕事が増えるだけなので。そういう意味で、自分で減らさないと自分の仕事が増えるという意識付けもしたいということで、それぞれから提案をしていただく。これは全職員対象の説明会と、各部課長にしっかりスクラップする事業を出してくださいと。これは市長自らがかなりの削減をして欲しいと指示を出して、それぞれが出したものです。ただ、それで十分というわけではないので、よそからどういうものが出ているかを見て参照しながらやっていきたい。今年度は新たな方針で取組みましたので、効果があるということなら先ほど言われたような視点も含めて考えていかないといけないと思います。

串崎委員長

その他ございますか。

芦谷副委員長

このシートは大変良くできていて感心しました。利用者や消費者や市民といった方々の評価を入れる考えはありますか。

総務部長

全部の事業ではないですが、アとイの事業については外部の方……行革の専門部会を作るのですが、専門部会の委員さんには……全ての市民の方の声を聞くことはなかなか出来ないなので、行革委員の中にも公募で出られた方がおられます。そういう方にもなるべく評

芦谷副委員長

価委員会に入ってもらって色んな視点でチェックしてもらい、それを活かすつもりです。

総務部長

外部委員はもちろんですが、それ以前に、その施設なり事業なりで受益を受けた方、市民、消費者、生活者、直接利益を受ける方々の評価を行政として把握して、反映させればなお良いと思いました。

今回はどちらかという、市民の方に影響のないような事業が…補助金とかもある……というのは以前同じような行政評価をやり、例えば色んな団体の補助金の見直しとか、市民の皆さんや色んな団体に影響があるような項目をやった時に、逆に当該事業団体から存続の要望が随分出ました。削ってくださいというお話はなかなか出てきません。残して欲しい、何故うちを削るのか、何故うちを見直すのかという議論がかなり出たので、該当の皆さんに意見を聞くというのは非常に行革のスタンスからいくと進めにくい部分があります。当然必要な部分は残さなければいけないと思いますが、飽くまでも見直しが前提でやっています。そのことから、今回は直接市民の皆さんに大きな影響を及ぼさない部分が中心にはなっていますが、関わる部分は先ほど言った外部委員さんの二次評価をいただいて進めたいということで……先ほど芦谷委員から言われたような考えもあると思いますが、以前やった時に非常に難しかったことから、今回はそういうことを入れていません。

串崎委員長

その他ございますか。

佐々木委員

外部委員さんのメンバー内容の話がありましたが、どんな人たちですか。

行財政改革推進課長

行財政改革推進委員会附属機関には 18 名いらっしゃいますが、そのうち 6 名で構成します。6 名中 3 名が識見者ということで、県立大学の先生お二方と、政策金融公庫の支店長さん、残り 3 名は公募委員を予定しています。

佐々木委員

対象事業が選ばれていますが、先ほどの外部委員さんもお審議される、元気な浜田事業のソフト事業、36 事業ということですが、予算書を見てみると、ソフト事業が全部で 40 事業あってそのうち 36 ということなので、ほとんどの事業を検討するということですが、そもそも元気な浜田事業は非常に重要な事業という位置づけがされているのではないかと思います。予算書に書いてあるのは、元気な浜田事業とは第二次浜田市総合振興計画に掲げる 7 つのまちづくりの大綱の、各種施策のうち特に重点的に取り組む項目として、元気な浜田事業を作るためのロードマップなどに掲載していく云々とあって、今回ごっそり審査にかけるイメージにはないのではないかと思います。先ほど市長から、なるべく削減して欲しいという意向もあるようなので、そういったことが背景にあるのかなと思うのですが、その辺はいかがでしょうか。

総務部長

元気な浜田づくり事業は、久保田市長が就任されて、元気な浜田

を作るということで新たに重点的に取り組む事業です。市長1期目の任期中はこういうことを中心にやってきて、一度その評価をしっかりとしてもらおうということで、今回市長自らが評価してもらって良いよと言っていただいたので、外部の方の意見も聞いて、本当に市民の皆さまに、これが元気な浜田づくりにどれだけ効果があったかを評価していただこうと。あまり効果が無いものは見直さなければならない、効果がある物は継続していこうということで。先ほど来からあるように、内部自らで評価するのは難しいということで、外部の方には是非見ていただいてやるということで。今までやってなかったことですが、自らの重要施策を評価することを新たに決断しました。

串崎委員長

他にありますか。  
( 「なし」という声あり )

### 3. その他

串崎委員長

執行部から何かありますか。  
( 「ありません」という声あり )  
委員から何かございますか。  
( 「なし」という声あり )  
では執行部の方にはご退席いただいて構いませんか。  
( 「はい」という声あり )  
意見もございませんので、執行部の皆さんはご退席いただいて結構です。

#### 《 執行部、退室 》

串崎委員長

皆様方に各自治区の地域協議会の開催予定表を配っています。金城地区は既に終わっていますが。これは今後ご都合がつく方に参加いただく形でよろしいでしょうか。それとももう少し強制的な方がよろしいでしょうか。ちなみに金城自治区は、説明だけでほとんど意見が無かったという話を聞いています。どのようにさせていただきますでしょうか。

川上委員

委員会としてはなかなか強制というわけにいかないと思うので、出られる範囲で出ていただければと。出て各自治区の問題点等の収集に努めていただければと思います。先日の広報広聴でも話がありましたが、井戸端会に使うためにもあるけど、各自治区の問題点を一度自治区長さんに拾い出していただきたいということを、伝えていきたいと思います。

串崎委員長  
佐々木委員

その他ご意見ありますか。  
出られる人はなるべく出てということですが、ただ、議題の中に自治区制度についてというのが出そうなのですか。

串崎委員長  
佐々木委員  
串崎委員長

そうです。

それが大前提ですね。分かりました。

その他ございますか。

( 「なし」という声あり )

出た意見をまとめると、委員は出来る限り出る方向で、強制はしないという形で、ここを取りまとめてもよろしいでしょうか。

( 「はい」という声あり )

ではそういうことでよろしくお願いします。

次回開催予定ですが、事務局から何かありますか。

鎌原書記

各自治区の地域協議会が終わった後の、7月下旬か、8月に予定されています、全員協議会終了後でどうでしょうか。

串崎委員長

今の協議会が終わった後にするか、8月の全員協議会の時にするかという意見だと思いますが、どのようにお諮りしましょうか。

川上委員

現時点では浜田自治区は地域協議会が未定です。開かれるかどうかもわからないので、これがどうかによって変わるけど、少なくとも8月の全協の時には、しなければならいかなと思っています。

串崎委員長

8月の全協の時で、というご意見ですが、それでよろしいですか。

( 「はい」という声あり )

では8月の全員協議会の後ということで、よろしくお願いします。

以上でだいたい終わりましたが、何かございましたら。

( 「なし」という声あり )

では以上で終了といたします。お疲れ様でした。

(閉 議 12時03分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

自治区制度等行財政改革推進特別委員会 委員長 串崎 利行 ㊟